

✿松阪地区だより✿

令和4年12月1日
松阪地区交通安全協会
☎0598-52-5431

ピカッと目立って交通事故防止

10月1日から12月31日までの間、「夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動」が実施されています。特にこの期間は、日没時間が早まり、交通事故が増加する傾向にあります。ドライバーは早めにライトを点灯し、歩行者は反射材を活用し、交通事故を防ぎましょう！



夜間、ドライバーはあなたに気づいていると思いますか？

歩行者や自転車にとっては、車のライトは非常に眩しく感じますよね。あれほど明るい光で照らすわけですから、暗い中でも見えていると思いがちです。

秋から冬にかけて、服装も黒っぽい色の物が増え、まさに闇夜のカラスになってしまいます。自分の目で車が発見できることと、ドライバーが自分を発見してくれることは同じではありません。気づいてもらえない怖さを意識し、明るい服装、そして、反射材を活用し、自分を目立たせましょう！



ココがポイント！

1. 車のライトが当たる場所！
2. 動きのある場所！
3. 体の側面にも！

反射材、どこに着けてますか？

カバンに付けている人、タスキをしてウォーキングしている人など、その使い方も様々です。でも、ちょっと確認してみてください。反射材は、車のライトが当たって初めて光るものです。その着用場所で、大丈夫ですか？

★★★★ 車のライトはハイビームが基本です！ ★★★★★

歩行者だけでなく、ドライバーの皆さんも、薄暮時や夜間は目が見えづらくなりますよね。そこで、車はライトを点灯させますが、ハイビーム（遠目）が基本です。状況によってロービーム（近目）に切り替えます。

その照射範囲は大きく違いますので、上手く活用して、早く歩行者や自転車を発見できるようにしましょう！

ロービーム
約40メートル

ハイビーム
約100メートル

